

学校教育目標	「なかよく かがやき のびゆく子」 知: 課題解決に向け、進んでねばり強く学ぶ子を育てます。 徳: 豊かなかかわり合いを通して、思いやりのある子を育てます 体: 明るく、元気に、のびのび過ごせる子を育てます。 公: 地域、社会の中で正しく生きようとする意欲と実践力を育てます。 開: 社会の変化に主体的に対応できる力を育てます。				
	創立 132 周年	学校長 鶴飼 数夫	副校長 藤田 学	2 学期制	一般学級: 18 個別支援学級: 5
学校概要	児童生徒数: 556 人 主な関係校: 上永谷中学校・永谷小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	上永谷中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <問題発見・解決能力> <言語能力>	上永谷中学校 永谷小学校 永野小学校(本校)	「自己肯定感を高め主体的な人となる」 ・進んでかかわり合う子どもの姿をめざして～分析的児童理解を生かした集団づくり～をテーマにYPを活用して子ども達の成長を推進する。 ・「笑顔であいさつできる子ども」の実現に向けて、児童・生徒一体になった活動を支援 ・小中9年間を通した基本的生活習慣の定着に向けた取り組みの発信。

中期取組目標	<p>○ホールスクールアプローチでESDを推進し、持続可能な社会の担い手育成の観点から学校の取り組みを見直します。</p> <p>○子どもたちの自己肯定感を大切にし、「よりよい自分づくり」を後押しする学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの学習に対する意欲や、問題を解決する能力を高めます。 ・自他を大切にできる心情や態度を育てていきます。 ・自らの心身を成長させるために、学習に取り組む力や態度を育てます。 ・学校や地域の約束を守り、集団の中でよりよく生きようとする子の育成を目指していきます。 ・非常時の安全対策の充実、自分が何をすべきか判断できる職員や子どもたちを育てます。
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	確かな学力	①自ら考え、判断し、表現する力や、発信力・表現力等を身に付けられるようにしたい。教科・領域のもつ価値と教師の手立てを一致させることで、全児童の学習に対する意欲を高めていく。②各教科の基礎基本の定着だけでなく、児童が日常で直面するであろう問題を自分事としてとらえ、解決できるような能力を高めるため、問題解決的学習の充実を図る。
担当	学力向上委員会	
徳	豊かな心	①たてわり活動や人権週間の取り組みなど、児童会活動の充実を進める。 ②「特別の教科 道徳」を要として、道徳教育を推進し、全教員が参画して取り組める体制を整える。 ③ 幼保小連携事業、小中交流事業や地域との交流など、交流や体験活動を充実させていく。
担当	道徳部・人権部	
体	健やかな体	①体育の学習で自分の課題を確認する時間を設け、その課題を解決するためにめあてをもてるようにする。 ②いのちの学習をはじめとして、年間を通じて保健教育を推進し、心身ともに健康に生きようとする力を育てる。 ③給食や各教科を通して食への興味を高め、望ましい食習慣につながるような支援を続ける。
担当	体育部・健康教育部	
公開	自分づくり (キャリア教育)	①地域の材を中心に人やもの関わっていく中で、一人ひとりの自己有用感を高めるようにする。 ②各学年の実態に合わせたキャリア発達の課題を捉え、外部講師や企業と関わる活動を年間計画に位置付け、総合の学習や特別活動をはじめいろいろな教科の学習の中で課題に取り組む。
担当	総合・特活部	
いじめへの対応		①引き続き毎月の全体児童指導部定例会、臨時会の3種類のいじめ対策委員会を設け、迅速に対応していけるようにするとともに、全職員で情報を共有できるようにしていく。 ②職員がいじめ認知に対する意識は高まっているので、それを維持しつつ、学年やブロック、全職員などの様々なユニット内での情報共有の流れをスムーズにしていけることをより意識していき、見落としの案件が出ないようにしていく。
担当	児童指導部	
特別支援教育		①個別の配慮メモを活用し、支援の必要な児童に対して継続的に支援ができるようにしていく。②特別支援教育について、保護者の理解を得られるように啓発活動をしていく。③個別支援の必要な児童に対しての理解を深める研修を行う。④「ハートフル永野」に在籍する児童や特別な支援を必要としている児童についての支援について職員間で共通理解することができる形を考えていく。
担当	特別支援教育委員会	
児童・生徒指導		①学校の約束を基に、子どもへの指導を全職員で共通実践し、誰もが安心して安全に過ごすことのできる学級・学校の環境を整える。②生活目標や人権集会などで、友達との関わり合い方について考える機会をつくらせていく。 ③多様化する事案に対して、チームで協力し、連携を取り合って対応していく。
担当	児童指導部	
地域連携		①地域学校協働本部と関連諸団体との位置づけを明確にして周知し、協働本部の主体性とカバンス力を強化する。②地域行事との相互協力関係を維持するとともに、持続可能な関係性の線引きをしていく。③教育DX化の急速な流れの中で、学校HPとYou tubeチャンネルの役割をしっかりと定める。
担当	学家地連担当	
安全管理		①各防災・防犯訓練や交通安全教室を通し、日常的に自分の身は自分で守り、安全に行動できるようにする。②毎月の安全点検を確実にいき、子どもの安全を軸に、必要に応じて設備の修繕・保守をしていく。③交通安全推進校の取り組みで作成した安全マップを地域に発信して活用していく。
担当	安全部	
人材育成・ 組織運営(働き方)		校内OJTをより一層推進し、メンターだけでなく、各キャリアステージに応じた力量の向上を図っていき、今後の学校運営の中核を担う人材の育成も同時に行っていく。 校務のICT化の推進、各種会議の内容の精選を行い、時間対効果が高まるように意識して職務にあたる。
担当	教務部	